

タウンミーティング記録 想いをこめて 未来につなぐ

日 時 令和 8 年 8 月 2 9 日(土) 午前 10 時～11 時 30 分
場 所 川崎自治会館（川崎自治会）
参加者 2 5 人



主な意見等

参加者 朝、調整池のまわりをウォーキングしています。雨が降った翌朝は調整池の水位の目盛が 6 m くらいのところしか見えないので、歩行者側からもっと下の目盛も見えるようにしていただきたいです。カメラを設置している関係でそのような設計になっているのでしょうか。

市 長 カメラの有無については確認しますが、調整池の目盛は川越江川のあふれそうな水が入ってきた時のためのものですので、ご意見として伺っておきます。

参加者 公共施設におけるトイレとWi-Fiについてお聞きします。現在はこの家庭も温水洗浄便座だと思いますが、公共施設のトイレはどれくらい設置されていますか。また、今後の計画についてもお聞きしたいです。

Wi-Fi も今は常識だと思いますが、市役所でもつながらない会議室があります。今後の整備計画等をお聞きします。

市 長 トイレについては、子ども優先ということで特に小・中学校のトイレを和式から洋式へと更新を進めてきております。温水洗浄便座につきましては、今後の明確なプランは現在ございませんが、ご意見どおりだと思います。いきなりはできませんが、取り組みを進めていきたいと思います。また、Wi-Fi についても計画はありませんが、必要

性は認識しております。財政状況をみながら、進めてまいりたいと思います

参加者 川崎の調整池の整備を優先している関係で下水道工事が後回しになっているという話を聞きましたが、いつ頃始まるか教えていただけないでしょうか。私ごとですが、家の浄化槽を改修するののか取り換えるのかも考えなければいけないので、気になっています。

また、葦原中学校(東)の交差点の信号機を変更することはできないでしょうか。南古谷方面から来て右折する車が多く、右折待ちの車で直進車の渋滞が起きています。右折矢印の信号を設置するなど、対策はできないのでしょうか。

市 長 下水道整備が調整池の整備のために遅れているという話をどこでお聞きになられたかはわかりませんが、そういうことはないと思っていますが、後日職員から連絡をいたします。

信号機については、私も認識しています。公安委員会にも話をしましたが、あの交差点は三叉路ではなく、十字路という位置づけなので、矢印信号は設置できないとの話を受けました。信号が変わる時間を変更する対策はしているとのことでしたが、引き続き依頼してまいります。

参加者 調整池が作られたのはよかった。新河岸川の河川敷の泥をなんとかしてもらえないでしょうか。初雁球場の周辺はやられたようなので計画はあると思うのですが、今後の河川整備の計画をお聞かせください。

市 長 埼玉県とは調整をしています。川底の土砂やヘドロの除去についてもお願いしているところです。除草については天候の影響もありますが、昔よりも頻度が落ちていることも認識しています。財政的な問題もあるかもしれないが、水害の大きさにも影響してくると思いますので、今後も引き続き埼玉県と協議を続けていきます。

参加者 川越江川の水門の上に街路灯があると思いますが、球切れしているので、交換等をできないでしょうか。

市 長 確認して対応します。

参加者 保護司は定員が各自治体で決まっていて、ふじみ野市は22人が定員ですが、現在11人と定員の半分しか充足されていません。また、定年もあるので今後さらに人数が不足することが目に見えています。これは本来自治体の話ではなく国の仕事だと思いますが、市からも保護

司の人数を増やすように国へ掛け合ってくれないでしょうか。

市 長 保護司の活動については、自治体が委任されている事務ではありませんが、ご理解ご協力をいただいて、増やしていきたいと思っています。国にも求めていると思います。

参加者 川崎氷川神社の近くに若い方が土地を借りて農業を始めたのですが、農業を始めるにあたって補助金が出ることを知って、市役所に相談をしたそうです。その際、担当者が変わったせいで、申請期間が過ぎてしまい、補助金の申請ができなかったと聞きました。若い方がせっかく農業を始めてくれたのに、このような形でもらえるお金がもらえなかったのは悔しいので、何か救済措置はとれないでしょうか。

市 長 若い方ですから応援してあげたいという気持ちはあります。詳しいことは資料がないのでお答えができませんが、期限が過ぎているならば、救済するようなことは難しいと思います。農業従事者が少なくなっていることは認識しています。市でも農業に関心を持っていたけるよう農業入門塾を開催していますが、全国レベルで見渡してみるともっと何かやれることがあるのではないかと感じています。

補助金の関係では行き違いはあったかもしれませんが、今後も農業従事者に対して応援をしていきたいと思っています。